

芋煮会・そば打ち実演会レポ

清原 正彦

12月7日、朝礼が始まると間もなく雨が降り出し、みんなはテントの下に避難。待ちに待った芋煮会の開始が怪しまれる事態になりました。

とはいえ他方、雨で色濃くなったナラやイヌビワの紅葉が艶やかさを増し、雨で重くなった赤や黄色の葉っぱがひらひらと舞い落ちる様子は、風情のある一面を見せてくれました。

そして、10時過ぎには空もすっかり晴れあがり、無事に調理を開始、例年のごとくエコファームGの皆さんを中心に、手際よく準備が進みます。

ベテラン勢の手ほどきを受けながら、若手(?)新人勢も大奮闘。里芋の品種「伊予美人」「甚五右エ門」をならやまで育てることとなったそもその謂(いわ)れや味の特徴を教わったり、大釜の蓋の置き方、ヤカンの注ぎ口の向きまで、古老からでないといけないお話に「へー！ へー！ へー！ へー！」の連続です。



<大鍋の芋煮がグツグツと煮込まれて>

12時に芋煮会が始まり、その美味しいこと、美味しいこと。次から次へとお代わりの列ができ、すっかり完食となりました。

お腹が一杯になったところで、そば打ちの実演が行われました。



<芋煮会スタートの合図と同時に大行列>

2019年11月の「第10回記念新そば祭り」以来、コロナ禍もあり中断を余儀なくされていた「新そば祭り」の雰囲気だけでも皆さんに味わっていただこうと実現しました。



<そば打ち実演会場の四阿>

そば打ち初体験の富井さん。体験後の感想は“無理やな～”の一言。



<そばクラブ講師田辺さんと師範代の田中さんのデモンストレーション>

手際よく打たれたおそばは、数量限定でしたが皆さんにお買い上げいただき、自宅で召し上がっていただきました。

こうして、芋煮会も無事終了。

今年もあと少し、楽しく、安全に、みんなでワイワイガヤガヤ、元気に活動しようとの思いを共有しあいました。